

独立行政法人日本学生支援機構

令和2年度 学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー



TOHOKU
UNIVERSITY

コロナ禍におけるピアサポート ～1年生支援を中心に～

2020年 12月 11日

東北大学

副学長（教育改革・国際戦略担当）

山口 昌弘



日付	事項
1月30日	環境安全担当理事の下に「東北大学感染症対策本部」を設置
3月 3日	総長の下に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を設置
3月 5日	不要不急の出張、イベント等の中止・延期を全学に要請
4月 5日	第一例目の感染者確認
4月 7日	第二例目の感染者確認、東北大学の行動指針(BCP) を策定
4月23日	東北大学緊急学生支援パッケージを発表
5月 7日	オンライン授業を正式開始
5月11日	各部署長へ研究活動における感染症防止対策管理体制の構築を要請
6月 1日	東北大学オンライン事務化宣言を発表
6月 8日	対面による授業実施の取扱い・対応ガイドラインを策定
6月12日	催事等開催時の新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを策定
6月26日	対面による大学院入試実施ガイドライン、UH青葉山新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた入居生活ガイドラインを策定
7月 3日	課外活動ガイドラインを策定
9月 6日	第三例目の感染者確認
9月 8日	対面授業とオンライン授業を併用したハイブリット授業の方針を公表
11月 6日	第四例目の感染者確認
11月11日	第五例目の感染者確認



東北大学における感染事案の発生と対応

4月 5日 (日) 1名
 4月 7日 (火) 1名
 9月 6日 (日) 1名
 11月 6日 (金) 1名
 11月11日 (水) 1名
 (11月中旬まで)
 この他海外での感染者4名



新型コロナウイルス感染症への学内体制

- 大学執行部を構成員とした「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」、さらにそのコアメンバーに専門家を加えた「**新型コロナウイルス感染症対策班**」を設置
- 後者の対策班会議は、初期は毎日、6月以降は火曜日・金曜日の週2回を定例としてハイブリッドで開催（総長も出席）。全学方針の策定、国内・国外の情報収集とレクチャー、部局ごとの対応計画やアクションの審議、個別事案への対応、感染者・濃厚接触者・検査対象者等への対応などを含めて全方位で検討
 - ・ 行動履歴の調査、相関図の作成
 - ・ 個室隔離（学内外宿泊施設への移送）
 - ・ 健康観察と**メンタルケア**
 - ・ 復帰日の判定
 - ・ 各種ガイドラインの策定 等



押谷 仁 教授 (医)

新型コロナウイルス感染症
対策分科会メンバー
厚生労働省クラスター
対策班メンバー
専門：微生物学



小坂 健 教授 (歯)

厚生労働省クラスター
対策班メンバー
専門：公衆衛生学



児玉 栄一 教授
(災害研)

専門：災害感染症学



木内 喜孝 教授
(保健管理センター長)

専門：病態生理情報学



神垣 太郎 助教
(医)

専門：微生物学

学生の状況と緊急学生支援パッケージ（4月）

学生の状況

- 対面授業は中止
- 「3密」アルバイトは禁止
- 課外活動は禁止
- 旅行・帰省は自粛

行動変容の要請

全学生 約18,000名

学部 : 約11,000名

大学院 : 約 7,000名

影 響

生活困窮学生 約4,300名

県外滞在学生 約2,700名（うちUH入寮予定者300名）

ネット環境が不十分な学生 約160名

オンライン授業の実施 4/20～試行 5/7～開始

全ての学生一人一人にアドバイザー教員を配置

東北大学緊急学生支援パッケージ（4月23日）

学生に
どう寄り添うか？

- 学生参画型ピアサポーター制度(2,500名配置)
- 本学独自の緊急給付型支援
- オンライン授業エキスパートTA (100名雇用)
- 専門家によるオンライン相談対応
- PC (300台) 及びWiFiルーター (300台) 貸出
- 図書館資料の配達サービス

緊急学生支援パッケージ





学修・学生生活支援

(1) 学生一人ひとりへの細やかな相談対応

- 全ての学生にアドバイザー教員を配置
- 新入生に対し学生ピアサポーター（2,500人）を配置し、きめ細かなアドバイスを実施
学生支援センターによるスチューデント・ラーニング・アドバイザーから着想
「ともに学ぼう、ともに育とう、『ともそだち』」

(2) 専門家によるオンライン相談対応

- 学業、進路、人間関係、心の健康など様々な悩みに関する個別相談や、何らかの障害があることを理由に、修学・生活上のつまずきや問題を抱える学生に対するきめ細かな支援を提供（ビデオ通話等を活用したオンラインでの対面形式の相談を拡充。Twitterで有用な情報を随時発信）

(3) 部局独自の多様な支援

- 緊急の相談体制を組織

全学規模でのオンライン授業を確実に実施するための学修・学生生活支援

(1) PC（300台）及びWiFi ルーター（300台）を緊急貸出

- 自宅のネット環境が不十分な学生に対して貸出

(2) WiFi 教室の開放（東北大学BCP レベル3 以下のみ）

- 無線LAN（eduroam）完備教室60部屋を3密を避けつつ開放（川内北キャンパス）



学生参画型ピアサポーター制度の創設及び多様な経済支援の提供

(1) 学生参画型ピアサポーター制度 <予算額1億円>

- 新生を含む多様な学部学生の大学生活を支援する学生ピアサポーターを2,500人配置（奨励費を支給（4万円/人））
※ 採用者数：2,290名（充足率：92%）

(2) 生活困窮学生に対する本学独自の緊急給付型奨学金 <予算額1.1億円>

- 生活困窮学生に対する相談窓口を開設し、事情に応じ緊急給付型奨学金を支給
申請件数 : 4,386件
緊急給付型奨学金支給対象者 : 3,606人（困窮度に応じて最大5万円/人）
※ 学部学生：2,220人 大学院生：1,386人
※ R2.5.20より順次給付
- 上記奨学金のほか、授業料免除等の支援（対象635名）を決定

(3) 博士後期課程学生を対象とする給付型奨学金 <予算額1.8億円>

- グローバル萩奨学金の給付（授業料相当額（60万円/人、300名分）を前倒し給付

(4) オンライン授業推進のためのエキスパートTA 制度 <予算額 1千万円>

- オンライン授業を行う教員を支援（ICTツールの使い方や教材作成の支援等）するため、エキスパートTA を100人雇用

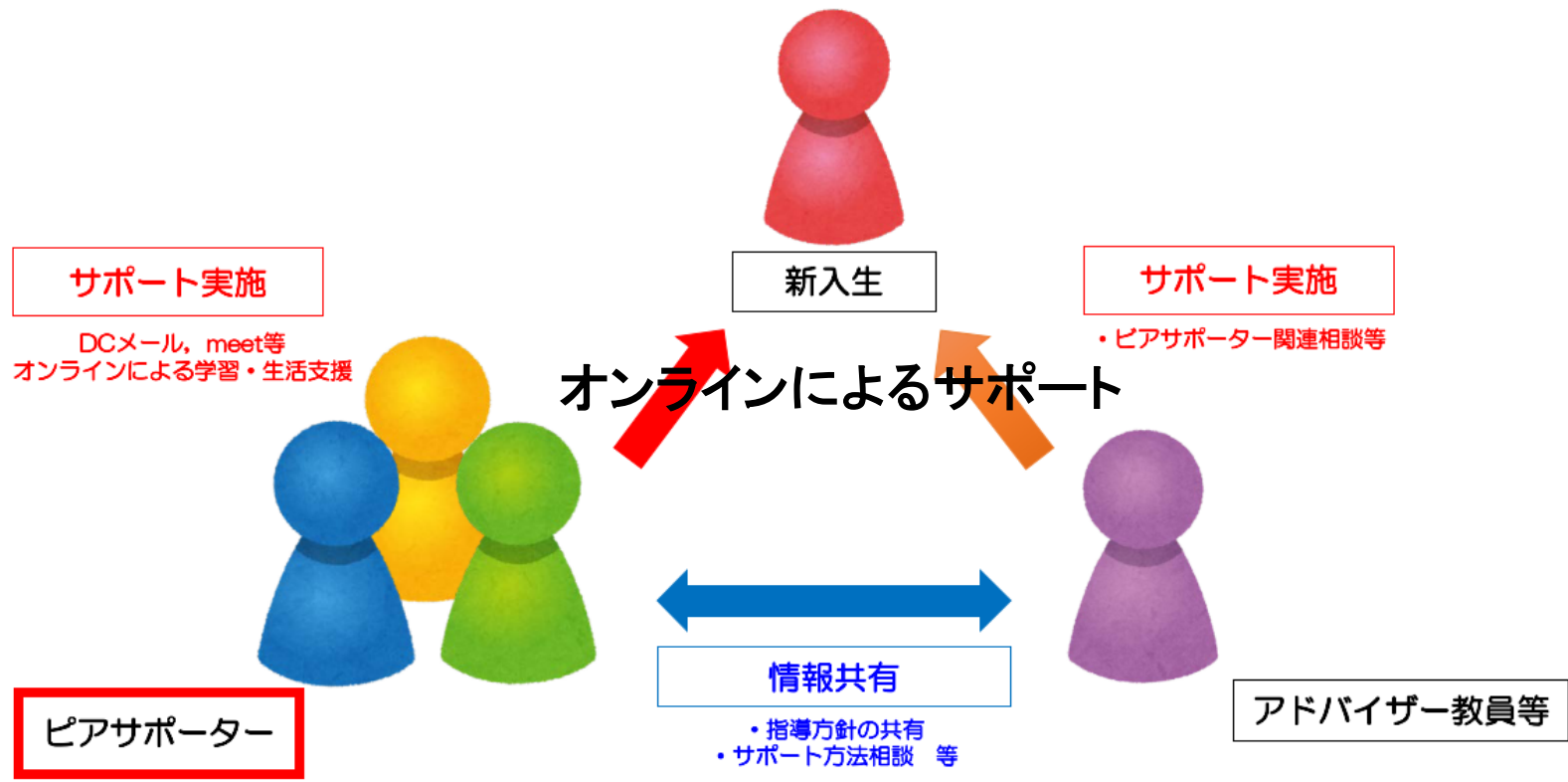
(5) 部局独自の多様な経済支援

- 各種のTA・RA・AA を措置





ピアサポーターによる支援体制イメージ



例) 個人での支援 ゼミ単位での支援

新入生に対するきめ細やかなアドバイスを実施するため、アドバイザー教員と連携しながら、ピアサポーターがオンラインによる学習・生活支援を行う体制を構築

部局の協力によるピアサポーター実施

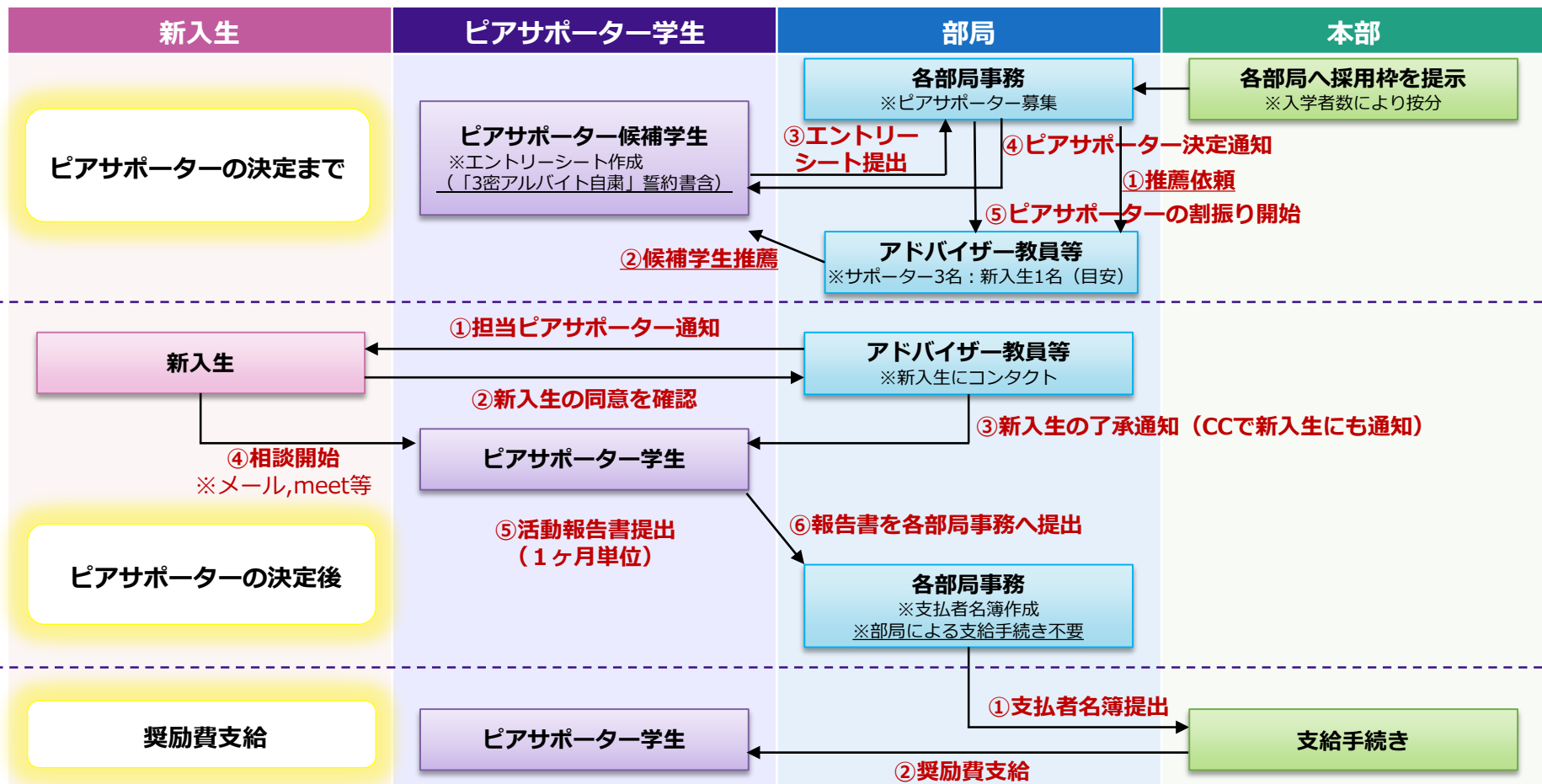
全学部で迅速に実施 → 各学部(部局)事務に協力依頼

5月1日 部局説明会

5月中旬 部局ごとに登録申請締め切り

5月下旬～ ピアサポーター開始

実施フロー (例：ゼミ申請型)

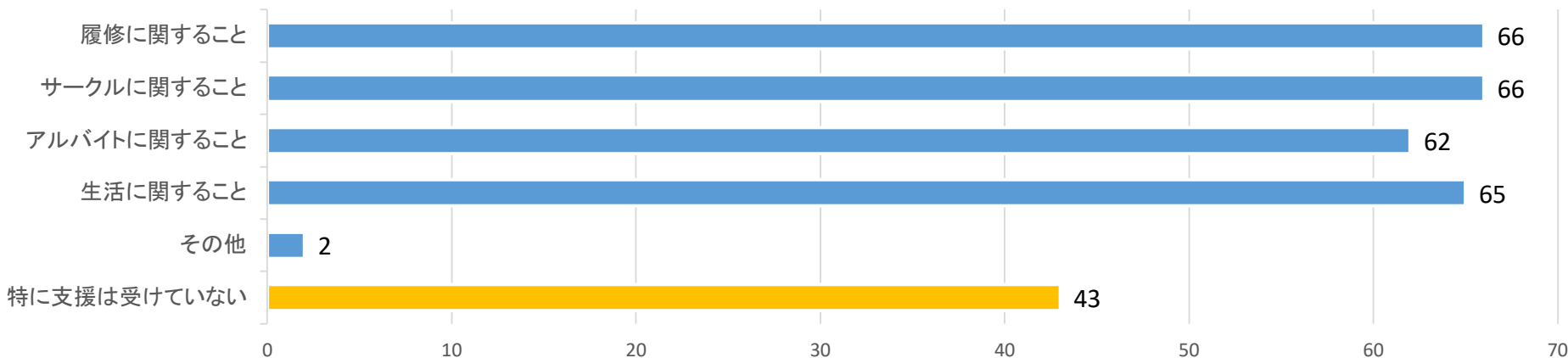




(学部1年生) ピアサポーターからどのような支援を受けましたか？

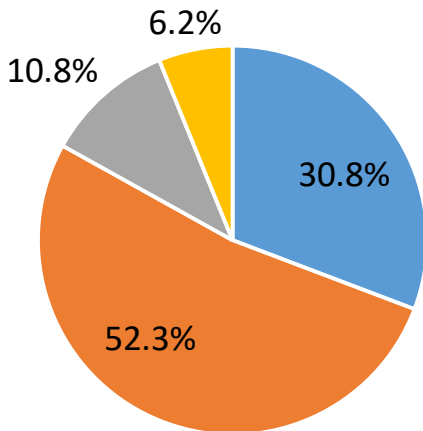
(回答件数139件：複数回答有)

7月10～26日



(学部1年生) ピアサポーターによる支援の満足度は？

(回答件数130件)



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ 大変不満

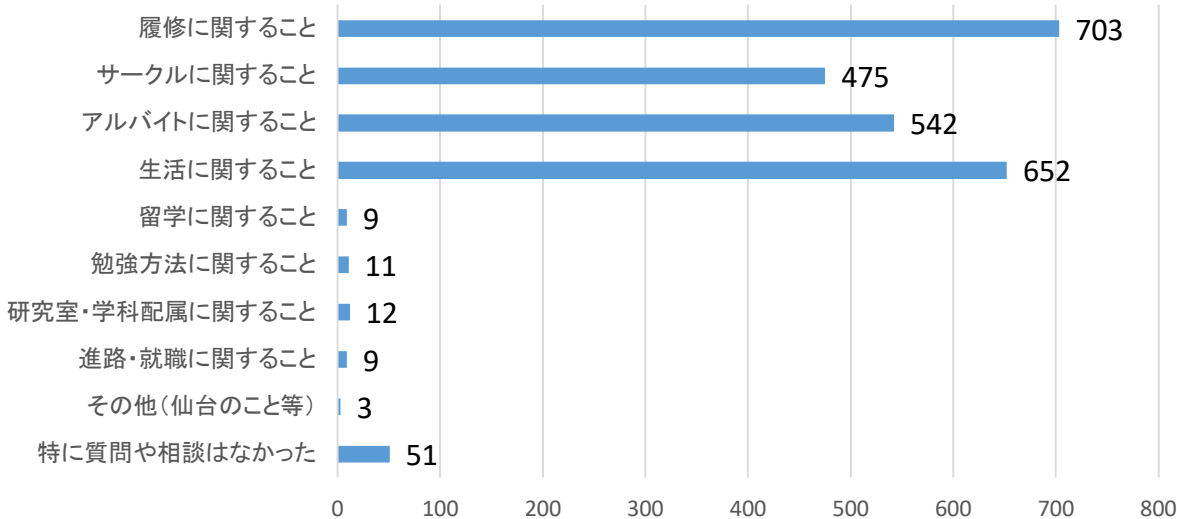
学生の声

- ピアサポーターに質問しやすく、とても有難かった。
- 慣れない環境で不安だったので、とても助かった。
- 外にあまり出られない中、人と話す機会が出来て、不安が解消された。
- Meetの時間が長く、課題に影響することがあった。
- ピアサポーターが新生生に対して何のサポートをすべきか、もう少し具体的な指示をして欲しかった。
- 一部の方だけでなく、学科全体で集まれる機会があると良い。



ピアサポーターとしてどのような支援を行いましたか？

(回答件数923件：複数回答有)

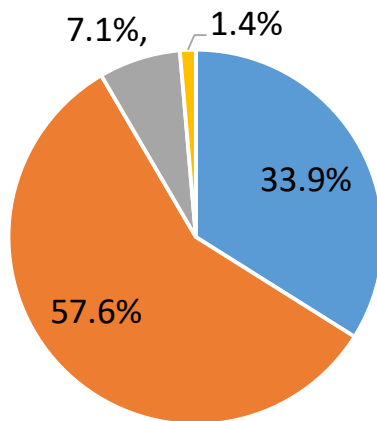


学生の声

- まだサークルなどに所属しておらず先輩とのつながりが少ない一年生にとって、気軽に話ができる上級生がいるのは、とても良い制度だと思う。
- 新1年生の役に少しでも立てたのが嬉しかった。
- 今後も継続して行うべき取り組みだと思う。
- 紙媒体の書類の提出が不要で、手続きが容易だった。
- 新入生がどのような情報が必要か、アンケートなどによって、予め提示して欲しかった。
- 学部毎に対応に温度差があり、統一して欲しい。
- もう少し早い時期からサポートを開始しないと意味がないと思った。

ピアサポーター制度に対する満足度は？

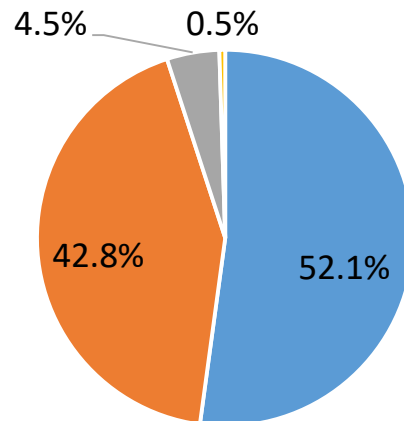
(回答件数949件)



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ 大変不満

(ピアサポーター) 就労場所の提供による経済支援(収入の確保)にどの程度役に立ちましたか？

(回答件数950件)

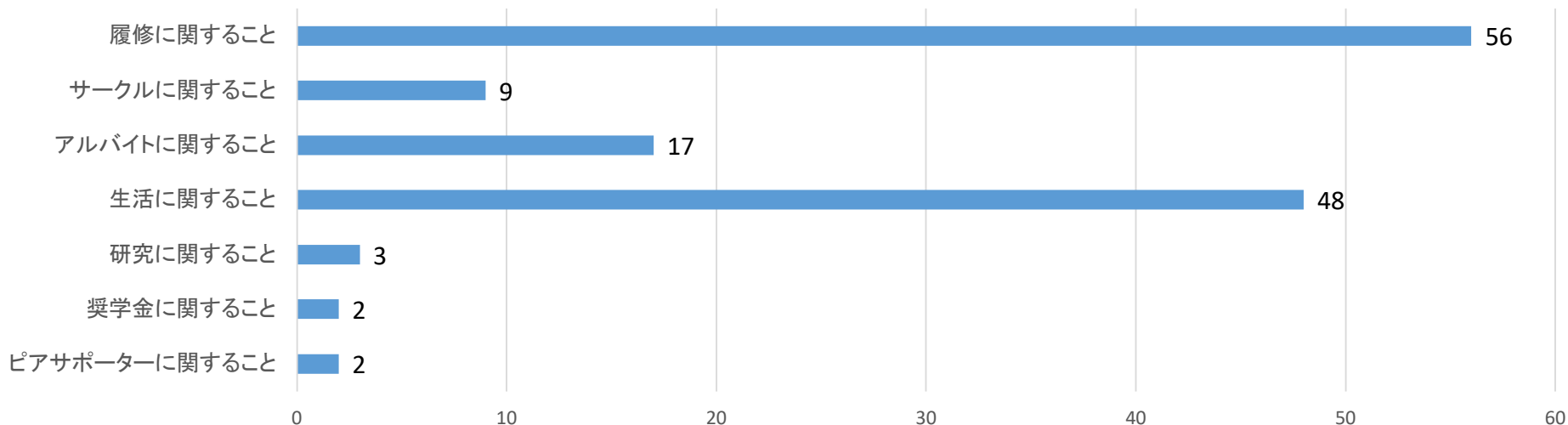


■ 大変役に立った ■ 役に立った ■ あまり役に立たなかった ■ 全く役に立たなかった



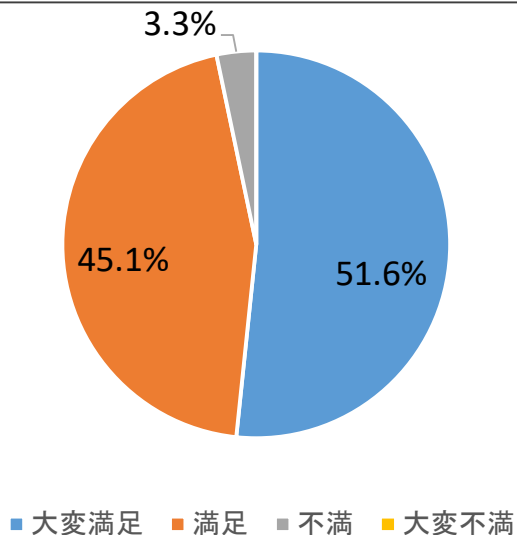
アドバイザー教員からどのような支援を受けましたか？

(回答件数89件：複数回答有)



アドバイザー教員からのアドバイスに対する満足度は？

(回答件数91件)



学生の声

- 入学したばかりで不安だらけだったが、少し楽になった。
- オンラインでの支援は新入生にとって、時間的にも心理的にも良かったので、継続して行って欲しい。
- 安心感があった。



学生支援センター スチューデント・ラーニング・アドバイザー (SLA)

2010年より実施
「ともと学ぼう、ともに育とう、『ともそだち』」
2020年前期はオンラインによる学習支援活動



図書館コンシェルジュ/留学生ヘルプデスク



東北大学
留学生 オンライン
ヘルプデスク

Google Classroom
レポートは
Google Classroom
で利用可能
クラスコード: wlm3mxl

ABOUT US 東北大学の学生スタッフが、留学生の皆さんをサポートします!

利用方法

- ① Google Classroomにアクセスする (classroom.google.com)
- ② 東北大学DC mailアカウントでログインする
- ③ クラスコードを入力してオンラインヘルプデスクに接続する

サポート内容

- Google Meetによるオンライン相談
- 留学生活に必要なオンラインセミナーやワークショップ
- イベント情報

お問い合わせ先: helpdesk@grp.tohoku.ac.jp
逆問じゃない、留学のチャンスだ。

ユニバーシティハウス 学生アドバイザー





Time to Unite
~Tohoku University~

今こそ自分を
変える時。

Distant but
united we will
all stay safe

逆境じゃない、
変革のチャンスだ。

はなれて守ろう
元気なからだ
合わせて作ろう
未来のちから

Stay Home,
Raise Hope

今は心で繋がろう。
またいつか
手を繋げる日まで。

東北から、
アフターコロナの
未来を創る

引きこもってるんじゃない、
世界中が
大学になっただけだ。

Close your door.
Don't close your
heart.
Stay in touch.

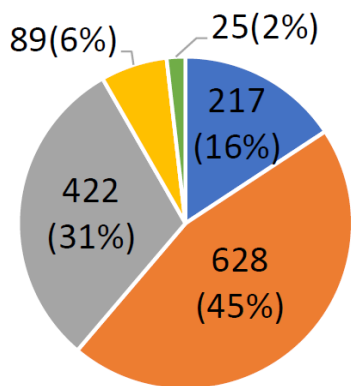
様々な制限の中での生活を余儀なくされている学生、教職員を元気づけようという思いのもと、感染予防、感染拡大防止を目的とした「スローガン」を学内構成員から募集。日本語部門、英語部門合わせて135件の応募があった（内訳：学部生78件、大学院生45件、教職員12件）。



結果：新しい知り合い、意欲、所属感

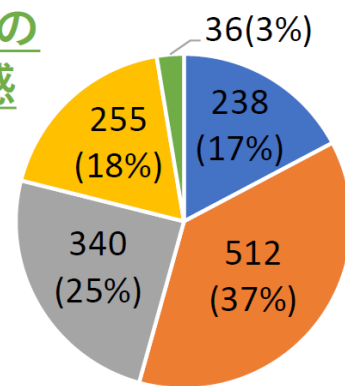
- 他の東北大学生と新しく知り合いになること：
できている871名（63%） / できていない510名（37%）
- 大学生活への意欲：
上がった114名（8%） / 下がった845名（61%）
- 「自分は東北大学の学生である」という所属感：
ある291名（21%） / ない750名（54%）

大学生活
への意欲



- 非常に下がった
- やや下がった
- 変化していない
- やや上がった
- 非常に上がった

大学への
所属感



- 全くない
- ほとんどない
- どちらとも言えない
- ややある
- とてもある

対面によるサポートの必要性・重要性！



- 学務審議会に「学生支援ワーキンググループ」を設置
 - メンバーは、各学部の教育担当副研究科長、教務委員長クラス
 - キャンパスライフをいかに取り戻すか？
- 学部1年生を対象にした**対面でのホームルームやガイダンス**を全ての学部において実施（WGとしては継続的に活動）



薬学部の実施事例（9月29日）

後期からの一部対面授業再開を前に、各学生の勉学や課外活動に対するモチベーションの向上を図るとともに、学生間の顔合わせを行って親睦を深めることを目的として実施（本学HPより）



令和2年度第2学期開講授業の対面での授業実施について(通知)

本学では、ニューノーマルに対応した新しい授業展開として、これまで実施してきた授業形態（対面型・オンライン型）に加え、各授業科目で学修する内容・特性に合わせ、キャンパスで行う対面授業とオンライン授業を併用した授業実践を目指しています。

今般、新型コロナウイルス感染症流行の第2波がピークを越えつつある情勢を踏まえ、十分な感染防止対策を施した上で、**対面授業にオンラインを併用した授業計画**を立てていただきますようお願い申し上げます。

対面による授業を行う際には、出席できない学生などがオンラインにより受講できるように必要な配慮を行うことをお願いいたします。

学部1年生をはじめとして低学年次学生の履修が主となる全学教育科目においては、学びの転換期にある学生が対象であることを踏まえ、安全性に十分配慮した上で、**特に対面での学修効果を重視した授業実施**についてより一層のご対応をお願いいたします。

学部・研究科の専門教育科目についても、十分な感染防止策を施した上で、対面を取り入れた 授業形態の構築を併せてお願いいたします。



課外活動の状況

STEP1 : 7月10日～ STEP2 : 8月7日～ STEP3 : 9月4日～ **STEP4 : 11月2日～**

●体育部（運動目的）

再開ステップ	屋内施設	屋外施設
STEP 1	使用不可	個人練習のみ可
STEP 2	個人練習のみ可	5人程度のグループ練習可 ※キャッチボール等の非接触活動のみ 接触を伴う対人プレー不可
STEP 3	5人程度のグループ練習可 ※パス練習等の非接触活動のみ 接触を伴う対人プレー不可	STEP2同様
STEP 4	団体練習可 対人プレー可 試合形式でのプレー可	団体練習可 対人プレー可 試合形式でのプレー可

●文化部（運動以外の目的）

再開ステップ	屋内施設	屋外施設
STEP 1	使用不可	個人練習のみ可
STEP 2	個人練習のみ可	少人数での練習可 ※5人程度
STEP 3	5人程度のグループ練習可	STEP2同様
STEP 4	団体練習可	団体練習可 ※合唱や合奏等を含む

コロナ自粛でコミュニティ作りの機会がなく、またスポーツを楽しみたい1年生を対象とし、学友会体育部が1年生のスポーツを通じたコミュニティ作りを全力でサポートするイベントを11/14（土）に開催

学生の自主企画によるピアサポート



半年遅れ入学式

今年の入学式は中止…
じゃあもう1回やろうぜ

総長挨拶

準備運動(ラジオ体操)
を予定



体験型ブース& パフォーマンス企画

まだ部活を悩んでいる方必見!!
各部の活動を10分で体験可能
1日で沢山の部活を見学できるチャンス



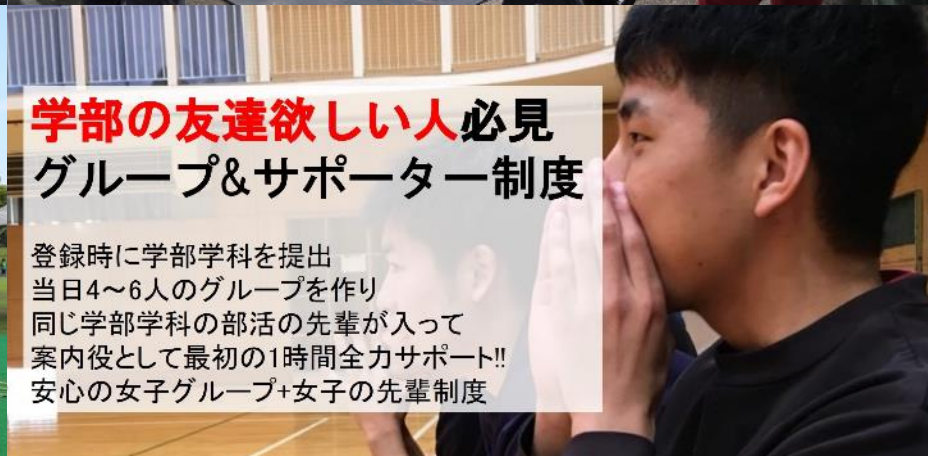
1人でもグループでも
楽しめる企画を多数用意

- ・半年遅れ入学式
- ・各部活パフォーマンスステージ
- ・おーたむ女子会
- ・体験型部活ブース
- ・スポーツ大会

詳細は



たくさん回って景品ゲット!



学部の友達欲しい人必見 グループ&サポーター制度

登録時に学部学科を提出
当日4~6人のグループを作り
同じ学部学科の部活の先輩が入って
案内役として最初の1時間全力サポート!!
安心の女子グループ+女子の先輩制度



- 4月:感染拡大、学内で感染者発生 → 様々な活動の中止、禁止: 行動変容の要請
- このような状況下で学生にどう寄り添う事ができるか?
- **4月23日: 東北大学緊急学生支援パッケージ**
学生ピアサポーター (1年生への支援とともに、上級生に対する経済支援)
(学生支援センターが実施するスチューデント・ラーニング・アドバイザーがヒント)
迅速に、全学的にいきわたるよう各学部の協力を得て実施。
全般的には1年生、上級生ともに好評
オンラインによるサポートの限界?
- 第1学期の1年生の様子
新しい友達が作れない(37%)、所属感がない(54%)
- **9月~10月:1年生の対面でのホームルーム、ガイダンスの実施(全学部)**
ハイブリッドでの授業の実施、課外活動の段階的再開
- **11月「新入生オータムフェスタ」:学生の自主企画によるピアサポート**

ピアサポートをはじめ様々な形で学生を支援してきました。今後も学生の様子を見ながら、必要な支援を講じていきたいと思えます。